

クロム活用シート

6年 算数科

1. 単元名『データの整理と活用』

2. 本時の評価規準

データの種類や項目の数を考え、目的に応じて表やグラフに表し、代表地や全体の分布の様子から、問題に対する結論を判断している。

【思考・判断・表現】

3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> クラスで実施した紙飛行機大会の結果を整理したドットプロット・度数分布表・ヒストグラムをもとに、クラス代表の団体を選出する。 データを比較し、クラス代表を選ぶ。 	A1 クラスで実施した調査の結果の一覧を提示する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 代表を選出する視点を話し合い、整理する。(平均値・最大値・最小値・最頻値・中央値・階級・ドットプロット・度数分布表など) 本時までに蓄積してきたデータを比較する。 C:平均値が3グループ内で1番高いので、平均的により記録を残すことができると思う。 C:平均値は低いけど、最頻値が21・22・19とBチームが1番高い値にあるので、Bチームを選出したほうがいいと思う。 選出の方法と理由を発表する。 	C2 本時までに蓄積してきたデータを観点ごとに整理する。 C1 選出するグループについて図や表をもとに自分の考えを記入し、共有しあって考えを深める。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフを用いた統計的な情報の整理についてまとめる。 データを分析して結果を出すときは、様々な情報と比較することが大切。目的にあった表やグラフを選ぶ! 	

4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

I	知識及び技能	2	問題解決・探究における情報活用の方法の理解
		①	情報収集、整理、分析、表現、発信の理解
		e	目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法

A1 教師による教材の提示

使用するアプリ等 「スプレッドシート」

	活用の流れ
①	本時までに児童が共有して作成してきたスプレッドシート(ドットプロット・度数分布表・ヒストグラム)を見ながら予想する。

2023/07/09 16:2	1	12	6	2
2023/07/09 10:3	2	9	7	10
2023/07/09 18:1	4	12	15	8
2023/07/08 14:4	5	12	10	12
2023/07/09 8:41	6	5	10	8
2023/07/10 16:1	7	10	6	9
2023/07/09 18:3	8	3	12	9
2023/07/09 16:2	9	7	3	11
2023/07/08 19:3	10	12	10	9
2023/07/10 17:2	11	12	7	17
2023/07/07 20:4	12	9	14	12
2023/07/08 11:0	13	8	9	12

C2 協働での意見整理

C1 発表や話し合い

使用するアプリ等 「スプレッドシート」「Google ドライブ」

	活用の流れ
①	画面を2分割にして、複数のデータを比較しながらレポートに自分の考えを記入する。
②	レポート内に考えた資料番号と選んだ根拠を記入し、見せあいながら話し合う。
③	各々のスプレッドシートに共有をかけ、他者参照がすぐできるようにしておく。

活用の効果

本時に至るまでの全ての時間において chromebook（スプレッドシート・Google フォーム・ドライブ）を用いてきたことで、ICT 機器の操作技術が向上した。また、共有して作業することによって効率的に作業が行える良さに気付くとともに、各々の整理や分析方法を参考にしながら自分の考えを深めることができた。スプレッドシートにデータを蓄積すること、画面を二分割にして比較することの2点により、調査活動における資料の選定や結果と情報の関係を関連付けながら思考することができた。